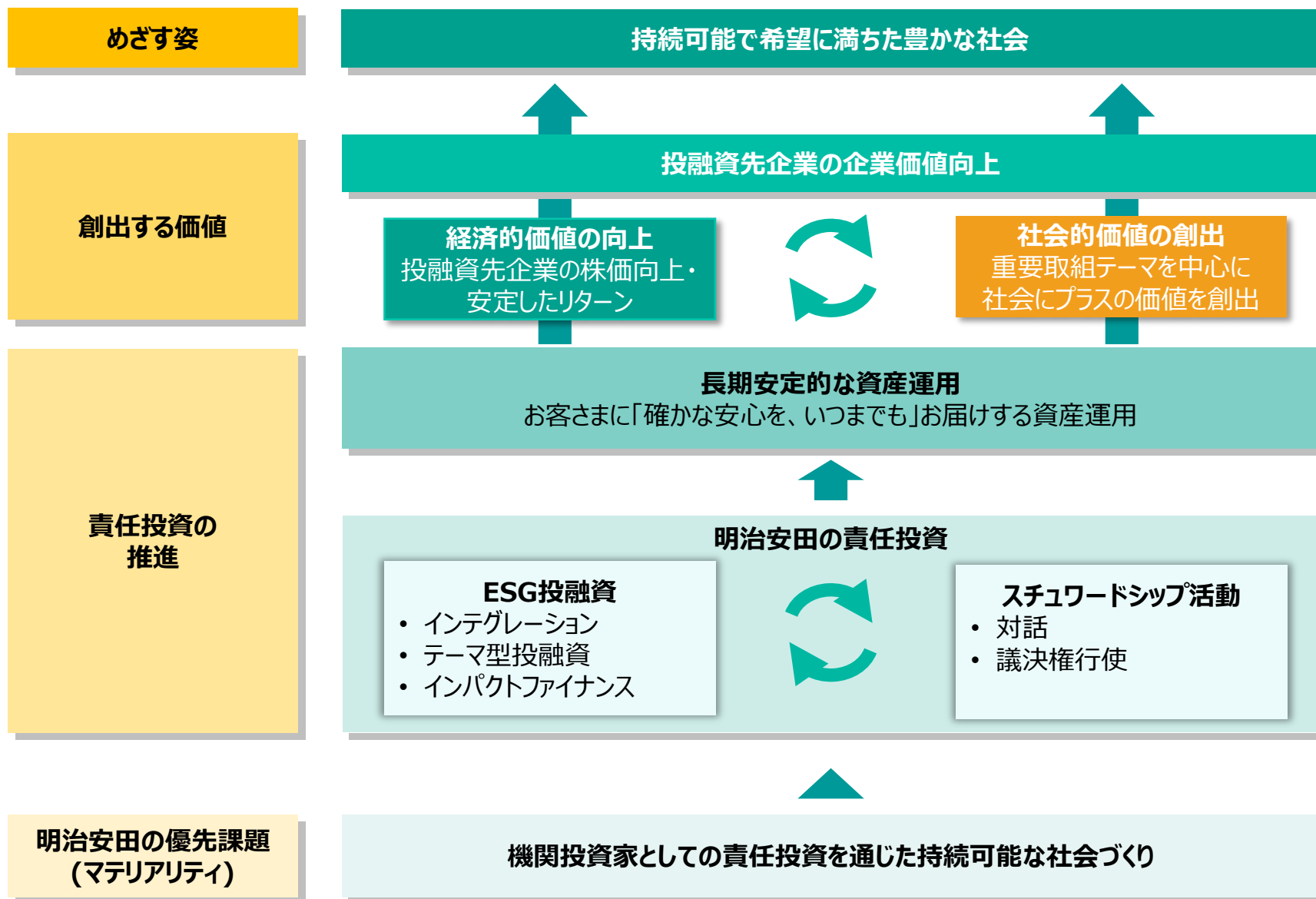


責任投資のめざす姿と全体像

当社は優先課題(マテリアリティ)の1つに、「機関投資家としての責任投資を通じた持続可能な社会づくり」を設定しています。

ESG投融資とスチュワードシップ活動を両輪とする責任投資を通じて投融資先企業の経済的価値の向上と社会的価値の創出をめざし、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献します。

責任投資のめざす姿と全体像



重要取組テーマと ESG要素の組み込み

当社が掲げる8項目の優先課題(マテリアリティ)をもとに、責任投資の重要取組テーマとして、①脱炭素社会の実現、②生物多様性の保全、③ソーシャル(人権等)、④健康寿命の延伸、⑤地方創生の推進を設定しています。

また、投融資判断においては、株式・債券・融資等の資産特性に応じて重要取組テーマをふまえたESG要素の組み込みを推進しています。詳細は[当社ホームページ](#)をご覧ください。

責任投資における重要取組テーマ

「ステークホルダーへの影響度」「事業との関連性」をふまえ、2024年度から当社の「優先課題(マテリアリティ)」を見直し、「機関投資家としての責任投資を通じた持続可能な社会づくり」を優先課題の1つに加えています。これをもとに責任投資においては以下の5つの重要取組テーマを設定して、重点的に取り組んでいます。

当社の優先課題(マテリアリティ)

健康寿命の延伸



地方創生の推進



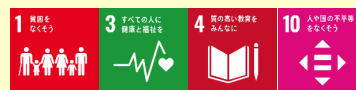
機関投資家としての
責任投資を通じた
持続可能な社会づくり



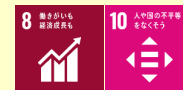
環境保全・気候変動
への対応



こどもの健全育成



金融サービスへの
平等なアクセス確保



DE&Iの推進



人権の尊重



責任投資における重要取組テーマ

健康寿命の延伸



地方創生の推進



脱炭素社会の実現



生物多様性の保全



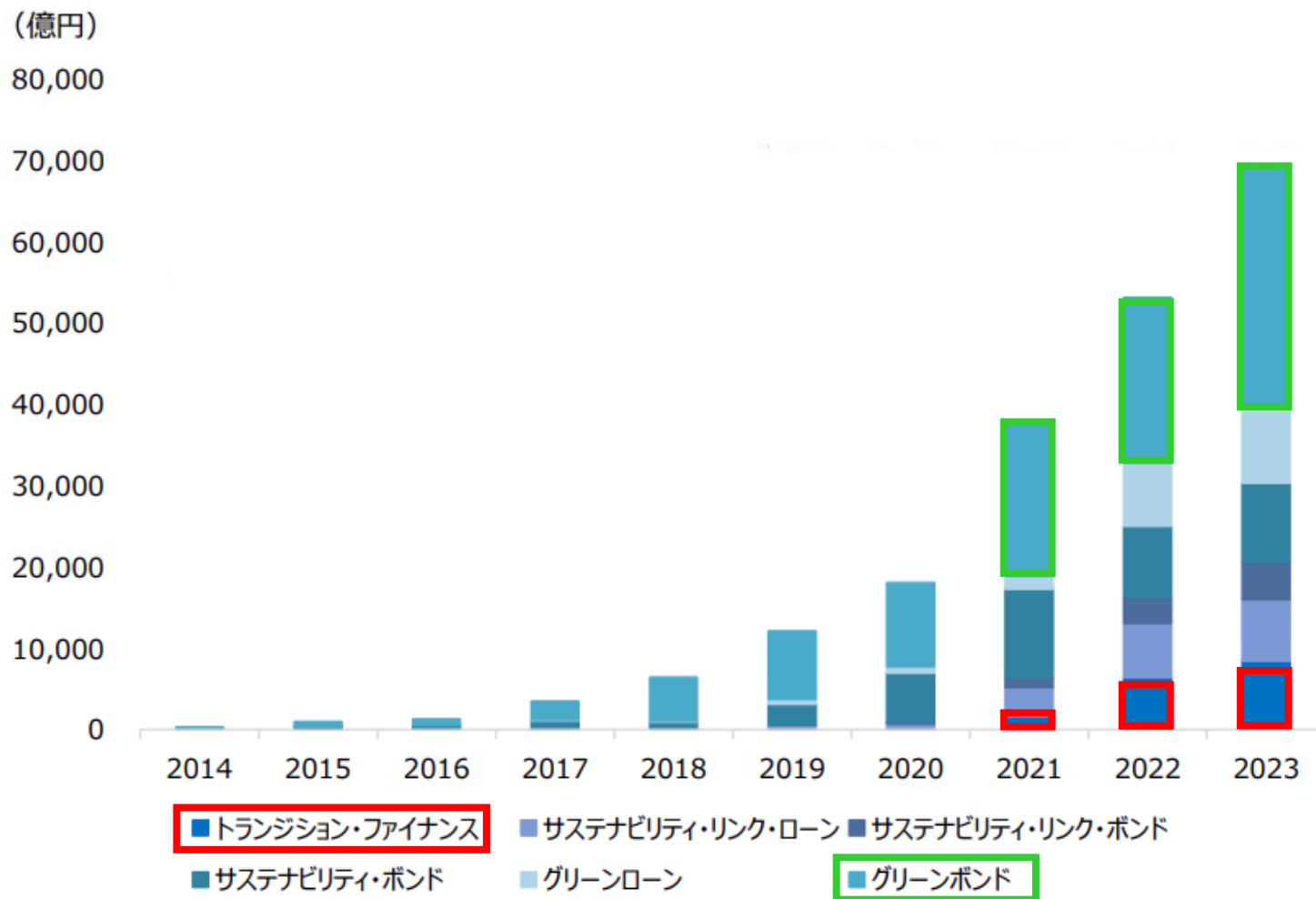
ソーシャル(人権等)



国内企業等によるグリーンボンドの発行実績

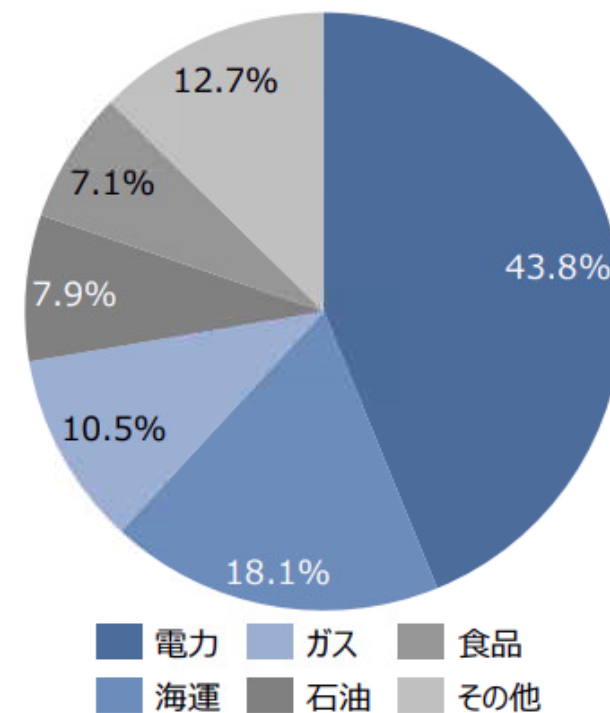


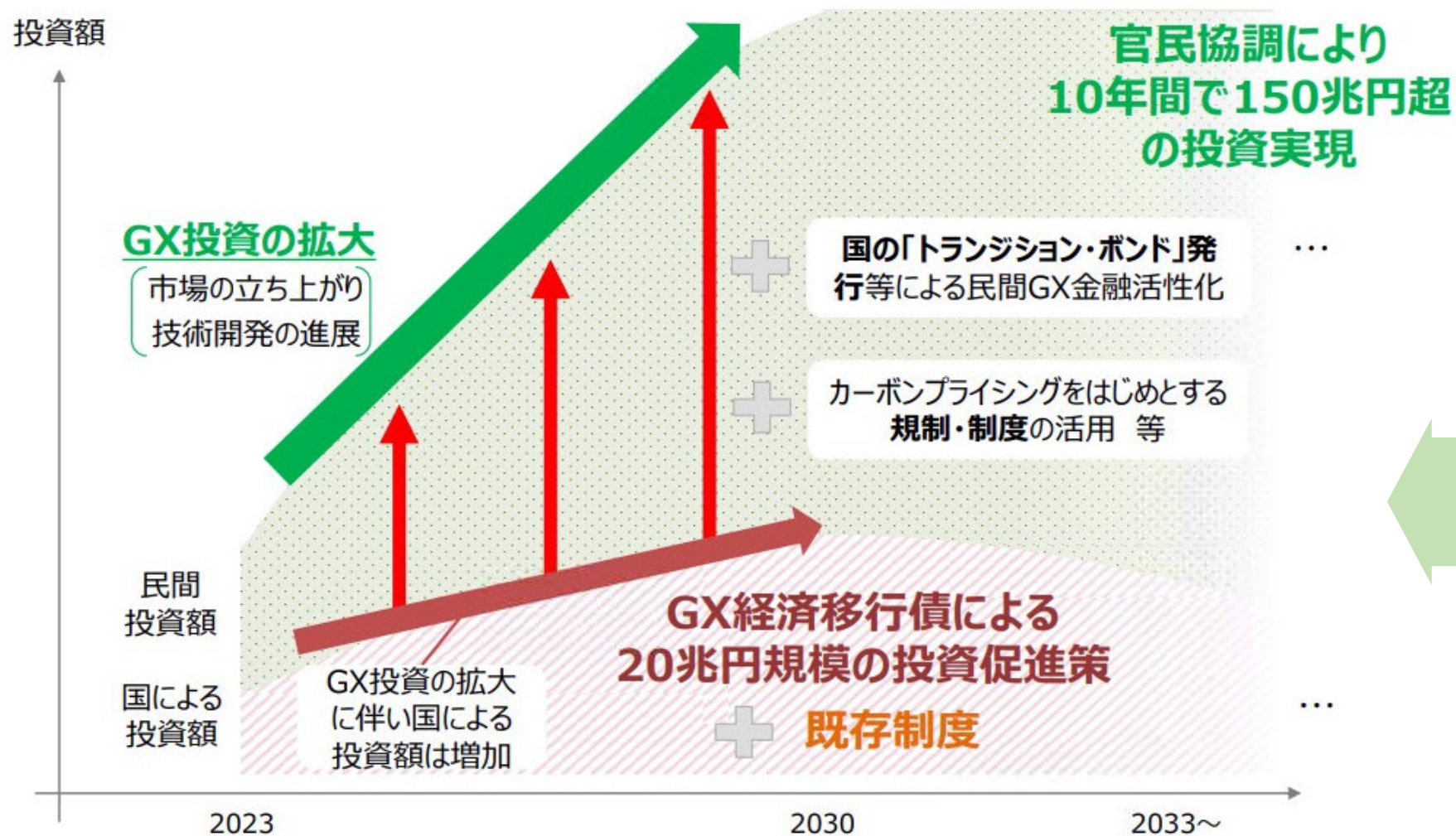
脱炭素等の環境関連投資による資金調達額の推移



トランジション・ファイナンス
累計国内調達額（2021.1～2023.12）

約 **16,440** 億円





明治安田











- ・グリーンボンド/ローン
- ・サステナブルリンクボンド/ローン
- ・トランジションボンド/ローン

ESG投融資の社会的インパクト(アウトカム)

当社が投融資しているテーマ債やプロジェクトファイナンスなども含むESG投融資を対象に、発行体の開示データ等を参照し、社会に与えたポジティブインパクトを計測し、当社の重要取組テーマごとに開示しています。

引き続き、ESG投融資によるインパクトの計測・把握については、高度化を推進していきます。

社会的インパクトの開示

重要取組テーマ	アウトカム(注1)	インパクト
脱炭素社会の実現	 CO ₂ 排出削減量(注2) 約 593 万t	気候変動の緩和
	 再生可能エネルギー発電量 約 37 万MWh	
	 CO ₂ 削減貢献量(注3) 約 16 万t	
生物多様性の保全	 廃水・汚水処理量 約 4 億m ³ /年	生態系の保護
ソーシャル	ソーシャルボンド投資を通じた総受益者 約 309 万人	社会的公正の実現 社会基盤の向上
	 女性への教育・就労機会等の支援 約 115 万人	
	 衛生環境の改善 約 48 万人	
	 教育機会の改善 約 37 万人	
	 社会的セーフティネットの提供 約 30 万人	





(注1)CO₂排出削減量は2022年度実績(対2019年度)、他は2022～2023年度の累計を表示

(注2)サステナビリティに重点をおいた対話とサステナブル・ミーティングを実施した投融資先企業の当社帰属分のみを集計

(注3)再生可能エネルギーへのプロジェクトファイナンスによるCO₂削減貢献量をPCAFのコンセプトに基づき算出

THEME BONDS

Summary of Theme Bonds Issuances (\$ million)

Theme Bond	Total Bond Issuances	Outstanding Bonds
 Education	1,029	1,029
 Gender	6,917	6,919
 Health	2,616	2,585
 Water	2,214	615
TOTAL	12,776	11,148

ESG債インパクト(アウトカム)開示例

Operational
PriorityOP1: Addressing
remaining poverty and
reducing inequalitiesDevelopment Effectiveness
Review IndicatorsResults
Achieved

1.1	People benefiting from improved health services, education services, or social protection	116.1 million
1.2	Jobs directly generated	347,000
1.3	Poor and vulnerable people with improved standards of living	93.5 million
2.1	Skilled jobs generated for women	43,000
2.1.1	Women enrolled in TVET and other job training	930,000
2.1.3	Women-owned or -led SME loan accounts opened or women-owned or -led SME end borrowers reached	1.6 million
2.1.4	Women and girls benefiting from new or improved infrastructure	459,000
2.2	Women and girls completing secondary and tertiary education and other training	178,000
2.4	Women and girls with increased time savings	2,018,000
2.4.1	Time saving or gender-responsive infrastructure assets and/or services established or improved	280
2.5	Women and girls with increased resilience to climate change, disasters, and other external shocks (n)	13.4 million

OP2:
Accelerating
progress in
gender equality